

令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年1月9日(火)
7時00分時点

- 1/4から国道249号の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、海側の国道249号の復旧に向け、(一社)日建連により緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸からくしの歯状の緊急復旧も進めており、既に6方向で沿岸部へ通路を確保

緊急復旧の進捗率

	1/7 7時	現在
半島内の 主要な幹線道路	約6割 ⇒	約8割
うち国道249号 沿岸部※	約2割 ⇒	約5割
沿岸部への到達	5箇所 ⇒	6箇所

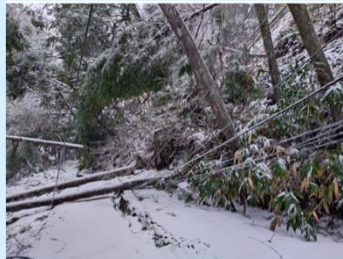
※輪島市門前町～珠洲市役所

孤立地区数の推移

1月5日8時	33地区
1月8日16時	24地区

※内閣府防災資料より
※孤立地区には支援物資が届けられているとの情報

写真①



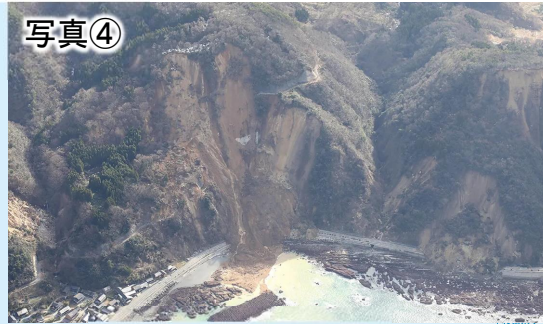
県道38号被害状況

写真②



国道249号作業状況

写真④



国道249号法面崩落

写真⑤



国道249号大谷ループ橋

写真⑥



国道249号大谷トンネル



凡例

- 国交省対応(走行可能)
- 県対応(この他にも作業を実施)
- 自衛隊対応
- × 被災規模 大
- ⊗ 被災規模 小～中程度
- ⊗ 完了(緊急復旧含む)
- 孤立集落(内閣府防災資料)
- 孤立集落(報道等)
- 孤立集落(解消済)
- ★ 復旧業者到達地点

写真③



土砂崩落復旧前

土砂崩落復旧後

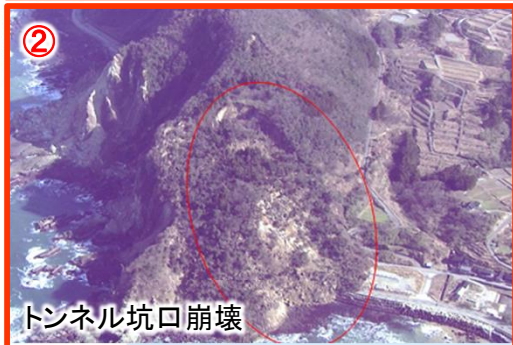
国道249号緊急復旧完了

国道249号における陸海空からの緊急復旧(自衛隊との連携)

令和6年1月9日(火)
7時00分時点

- 孤立集落の解消にむけ、**自衛隊と連携し、内陸からにくわえて空・海側から、くしの歯状の緊急復旧**を順次実施
- あわせて国道249号の被災箇所について、**本復旧にむけた現地調査に着手**

✖ : 被災規模 大



⊗ : 被災規模 小~中程度



自衛隊と連携し、**空・海から人員・資機材を搬入**し、陸路から到達困難な箇所では、**緊急復旧を推進**

○本日1/9より※1、TEC-FORCE(国土交通省緊急災害対策派遣隊)が**空からヘリで着陸**し、道の駅を拠点として**現地調査を開始**

○調査結果をふまえ、**重機をヘリや船で運搬**※2し、**現地で緊急復旧を推進**

※1: 1/9の出発は、天候により変更となる可能性あり

※2: 具体の運搬場所や方法等には、防衛省と調整中



ヘリの着陸拠点となる道の駅
(千枚田ポケットパーク)



重機をヘリで運搬
(熊本地震の事例)



重機を自衛隊の船で運搬
(NHK報道より写真を転記)

TEC-FORCEが空からヘリで道の駅に着陸し、先遣隊として、**現地調査** 今日

調査結果をふまえ、資機材を運搬

緊急復旧に着手

道の駅 (1/9着陸予定)

大川浜 (1/4上陸済)



緊急復旧に着手

道の駅

千枚田ポケットパーク

大規模被災が集中

陸路から到達困難

トンネル崩落により陸から海へのアクセス困難



- 凡例
- : 内陸からの緊急復旧到達点
 - ✖ : 被災規模 大
 - ⊗ : 被災規模 小~中程度

令和6年能登半島地震(最大震度7)による土砂災害発生状況

土砂災害発生件数

53件^{※1}

【被害状況】

人的被害：死者：23名
 安否不明者：2名
 負傷者：2名

家屋被害：全壊：11戸
 半壊：1戸
 一部損壊：2戸

(いずれも土砂災害による被害と判明した箇所のみ)

石川県	32件
新潟県	11件
富山県	10件

すずし にえまち
 ③石川県珠洲市仁江町 【道の駅すず塩田村の西側】



凡例
 ●：土砂災害発生箇所(石川県)

※1：都道府県から土砂災害発生箇所として報告された件数

わじまし くまのまち
 ①石川県輪島市熊野町



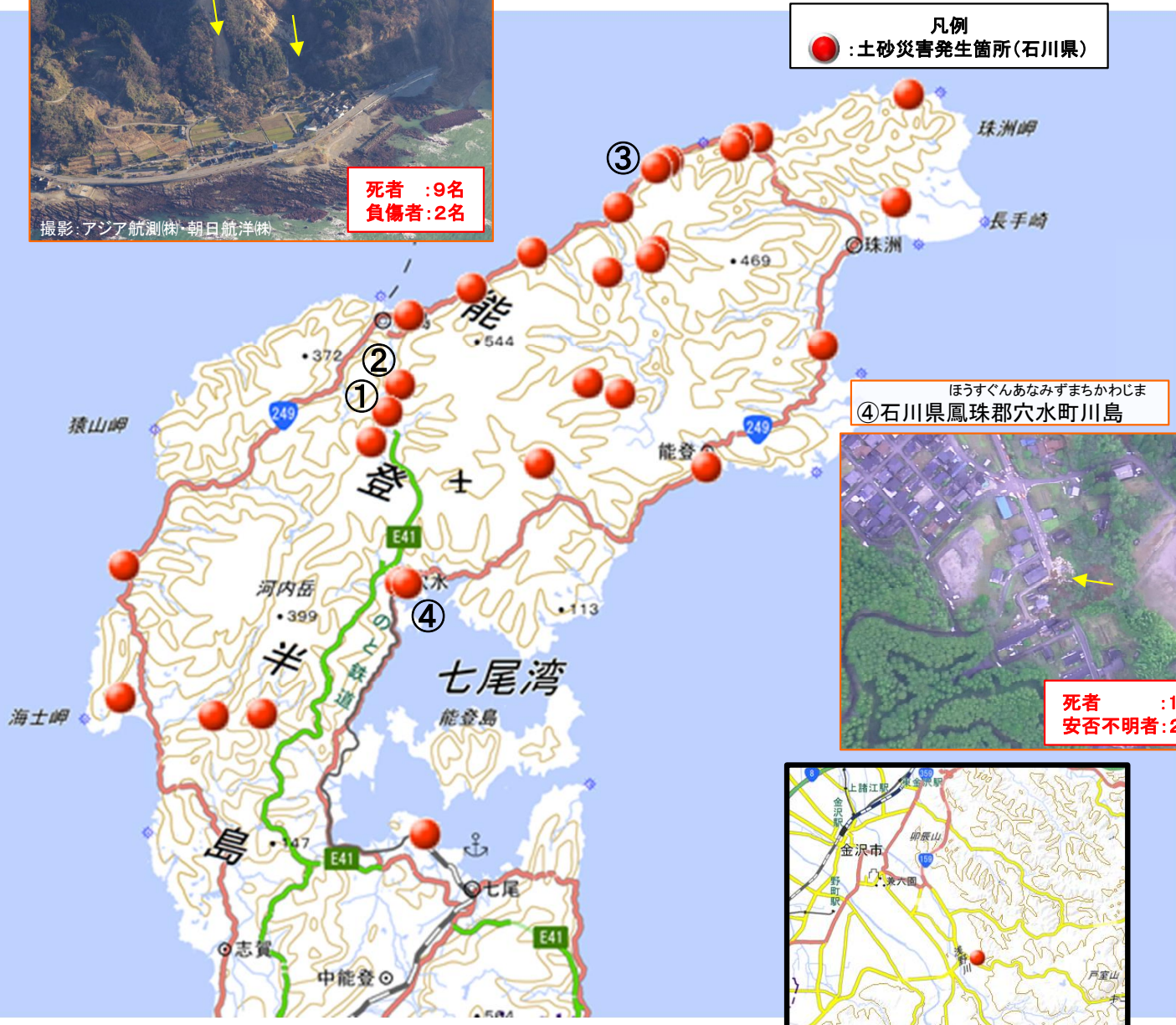
※河道閉塞対策の支援のためTEC-FORCEによる調査実施中

わじまし いちのせまち
 ②石川県輪島市市ノ瀬町



※河道閉塞対策の支援のためTEC-FORCEによる調査実施中

ほうすぐんあなみずましかわじま
 ④石川県鳳珠郡穴水町川島



※これは速報値であり、今後数値等が変わる可能性があります。

令和6年能登半島地震に伴う河川・海岸の対応状況等について

令和6年1月9日 5:00時点

国土交通省 水管理・国土保全局

- 国管理河川では、5県（新潟、富山、石川、福井、長野）に所在する12水系17河川で点検を完了。4水系4河川16箇所では堤防沈下、天端クラック等を確認、信濃川（しなのがわ）水系信濃川における緊急復旧工事の完了を含め、必要な応急対策は実施済。
- 県管理河川では、6県（新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜）が管理する122水系554河川のうち、93水系507河川で点検完了、残る河川は点検実施中。新潟県、富山県、石川県、福井県が管理する43水系72河川で、護岸損傷、天端クラック等を確認、応急対策を順次実施中。石川県管理の河原田川（かわらだがわ）水系河原田川、山田川（やまだがわ）水系山田川において、土砂崩れによる河道埋塞が発生し家屋等が浸水。河原田川についてはTEC-FORCEによる現地調査を実施、応急対策の準備中。山田川については流路確保工事中。
- ダムでは、点検対象ダム96ダムの全てで点検終了。うち94ダムは異常なし。2ダム（石川県管理）で損傷が確認されたため、応急対策を実施中。また、現地調査に先立ち、専門家（国総研）により、計測データやダム管理者が撮影した画像等を基に応急対応を指導中。
- 海岸では、全国の点検対象128海岸のうち、石川県の8海岸を除く120海岸で点検完了。うち石川県管理の宝立正院（ほうりゅうしょういん）、富来（とぎ）、穴水（あなみず）、根上（ねあがり）の4海岸において、堤防護岸等に損壊等を確認。応急対策の実施方法について検討中。

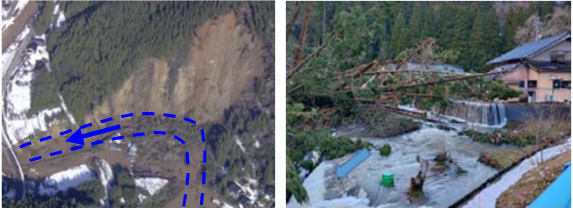
河川の被害状況: 国管理 県管理
 ダムの被害状況: 県管理
 海岸の被害状況: 県管理

＜石川県管理ダム＞
 北河内（きたかわち）ダム（能登町）
 貯水池周辺斜面の小規模崩落等
 小屋（おや）ダム（珠洲市）
 ダム天端の舗装に一部クラック、
 ダム堤体表面被覆の一部変状等

応急対策実施中
 専門家（国総研）により、
 計測データ等を基に
 応急対応を指導中

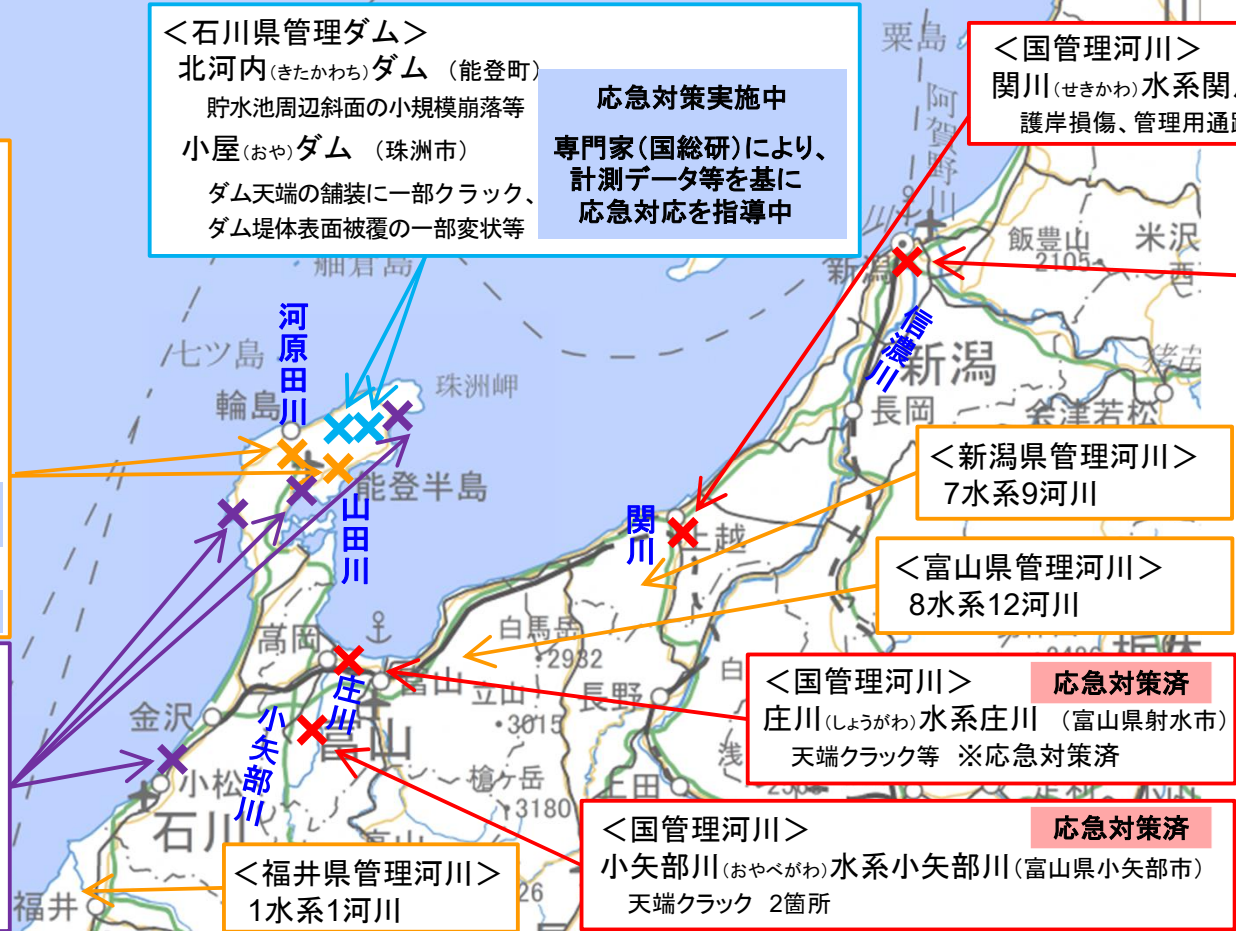
＜国管理河川＞ 応急対策済
 関川（せきかわ）水系関川（新潟県上越市）
 護岸損傷、管理用通路クラック 3箇所

＜石川県管理河川＞
 27水系50河川



河原田川（かわらだがわ）水系河原田川（輪島市）
 河道埋塞 **TEC-FORCE 現地調査を実施**
応急対策の準備中

山田川（やまだがわ）水系山田川（能登町）
 河道埋塞 **流路確保工事中**



＜新潟県管理河川＞
 7水系9河川

＜富山県管理河川＞
 8水系12河川

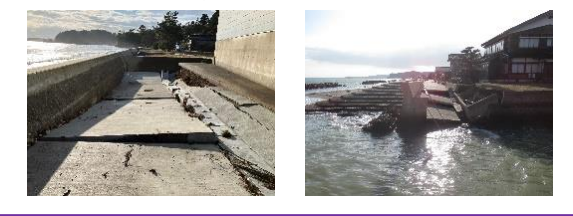
＜国管理河川＞ 応急対策済
 庄川（しょうがわ）水系庄川（富山県射水市）
 天端クラック等 ※応急対策済

＜国管理河川＞ 応急対策済
 小矢部川（おやべがわ）水系小矢部川（富山県小矢部市）
 天端クラック 2箇所

＜福井県管理河川＞
 1水系1河川



＜石川県管理海岸＞
 4海岸 堤防護岸等損壊 **応急対策の実施方法を検討中**



＜国管理河川＞
 信濃川（しなのがわ）水系信濃川（新潟県新潟市、長岡市）
 堤防沈下、天端クラック等 10箇所 応急対策済

令和6年能登半島地震の影響による鉄道の状況について

A のと鉄道 七尾線(33.1km)

○運休区間： 七尾駅～穴水駅間(全線) 被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月5日 のと鉄道より発表)

1月9日より現地調査実施(合計12名)

・鉄道局(TEC-FORCE) 2名、北陸信越運輸局(TEC-FORCE) 3名、鉄道・運輸機構 鉄道災害調査隊(RAIL-FORCE) 7名

B JR西日本 七尾線(59.5km)

○運休区間： 高松駅～和倉温泉駅間 高松駅～羽咋駅間は、運転再開には少なくとも2週間以上かかる見込み。

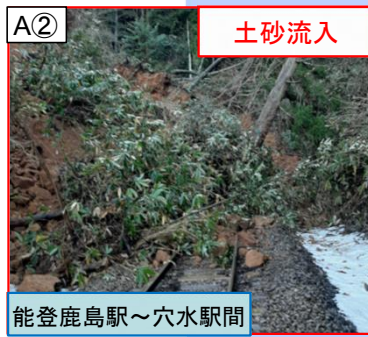
(45.1km)

羽咋駅～和倉温泉駅間は、被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月5日 JR西日本より発表)

○1月3日以降に再開した路線

- ・JR西日本 七尾線(津幡駅～高松駅間) (3日8時50分頃)
- ・富山地方鉄道 立山線(岩崎寺駅～立山駅間) (3日9時50分頃)
- ・あいの風とやま鉄道(倶利伽羅駅～高岡駅間) (3日12時00分頃)
- ・IRいしかわ鉄道(津幡駅～倶利伽羅駅間) (3日12時20分頃)
- ・JR西日本 高山線(猪谷駅～越中八尾駅間) (3日18時30分頃)
- ・北陸鉄道 浅野川線(全線) (4日始発から)
- ・JR西日本 水見線(高岡駅～水見駅間) (6日始発から)
- ・JR東日本 越後線(越後赤塚駅～関屋駅間) (6日13時頃)
- ・JR西日本 大系線(南小谷駅～糸魚川駅間) (6日14時40分頃)

【のと鉄道】



※各写真はのと鉄道提供



【JR七尾線】

— : 運休区間



※各写真はJR西日本提供

令和6年能登半島地震による能登地域港湾の利用可否状況

- 能登地域の港湾では、港湾全体に被害が及んでおり、石川県からの要請に基づき、七尾港、輪島港、飯田港、小木港、宇出津港、穴水港の計6港について、港湾施設の一部管理を国土交通省にて実施。
- 支援物資輸送の**中核となる水深4.5m以深の16岸壁**のうち、**9岸壁が利用可能**であることを確認(条件付きで利用可能なものを含む)。(その他、小型船用の水深4.5m未満の物揚場は、23施設が利用可能(条件付きで利用可能なものを含む))
- 引き続き、海上ルートによる支援物資の円滑な輸送の実現に資するよう、利用可能施設の利便性向上のための**応急復旧作業を進める**。

輪島港 (最大水深7.5m、延長220m)

1岸壁が利用可能

【主な利用条件と対応状況】

- ・岸壁法線から約13m離れた位置に岸壁法線と平行して最大2mの段差が生じていることから、船舶へのアクセス経路が限られている。
→アクセス経路の拡幅を予定。当面、応急復旧したアクセス経路で物資を搬送。
- ・地震による地盤隆起により、岸壁水深が最大1.5m程度浅くなっている。
→回復には抜本的な復旧工事が必要であり、水深6mの岸壁として運用。



自衛隊車両の利用状況(5日) 応急復旧の概成状況

小木港 (最大水深5.0m、延長160m)

5岸壁中4岸壁が利用可能

水深4.5m岸壁 × 4

【主な利用条件と対応状況】

- ・一部の岸壁で、水深が最大1m程度浅くなっている。
→応急復旧を準備中。

水深5.0m岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工事が必要

飯田港 (最大水深5.5m、延長100m)

2岸壁中1岸壁が利用可能

水深4.5m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

- ・航路内に小型船が沈没しているため、航行時に注意が必要。
→沈没船撤去等の準備中。当面、注意して航行してもらうことで対応。
- ・アクセス経路にうねりが生じている。
→応急復旧を実施中。当面、うねりのある経路上を低速で走行することで物資を搬送。

水深5.5m岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工事が必要



水深4.5m岸壁への着岸状況(5日)

七尾港 (最大水深11.0m、延長260m)

8岸壁中3岸壁が利用可能

水深11.0m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

- ・液化化の影響により、車両が走行できないアクセス経路がある。
→応急復旧を準備中。当面、走行できない区域を避けて物資を搬送。

水深9.0m岸壁、水深7.5m岸壁

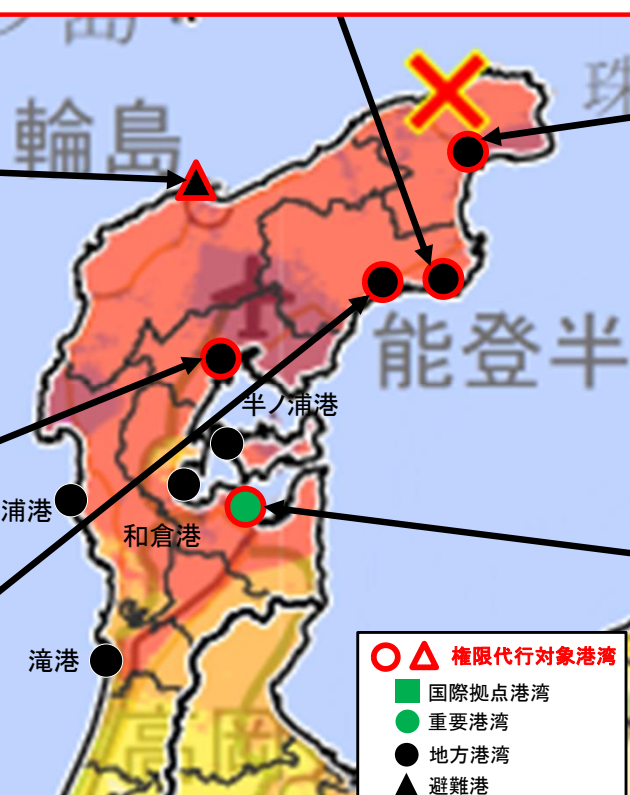
【主な利用条件と対応状況】

- ・岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができない。(一般車両は走行可能)
→回復には抜本的な復旧工事が必要であり、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用する。

その他の5岸壁は利用不可

→抜本的な復旧工事が必要

海翔丸の支援物資の積卸し(5日;水深7.5m岸壁)



穴水港 (最大水深4.0m、延長187m)

【主な利用条件と対応状況】

- ・強い陸風が吹くときは離岸が必要となる場合がある。
→回復には抜本的な復旧工事が必要。当面、注意して運用する。

宇出津港 (最大水深4.0m、延長205m)

【主な利用条件と対応状況】

- ・岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができないものがある。(一般車両は走行可能)
→回復には抜本的な復旧工事が必要であり、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用する。

国土交通省職員の対応状況

総数【493名】

リエゾン 42名
JETT 7名
被災状況調査班等 444名

石川県内(能登半島)【3名】

被災状況調査班(CAR-SAT) 北陸地整 2名
被災状況調査班(CAR-SAT) 中部地整 1名



Car-SAT(能登半島内)



被災状況調査(輪島市)



被災状況調査(輪島市)

※派遣先調整中【14名】

高度技術指導班(水道) 関東地整 4名
高度技術指導班(水道) 近畿地整 2名
高度技術指導班(港湾) 港空研 2名
現地支援班(電源確保) 関東地整 5名
被災状況調査班(応急危険度判定) 近畿地整 3名

志賀町【28名】

リエゾン 北陸地整 1名
リエゾン 北信運輸 1名
被災状況調査班(道路) 関東地整 20名
被災状況調査班(河川) 北陸地整 4名
高度技術指導班(水道) 中国地整 2名

河道閉塞箇所調査(志賀町)



被災状況調査(志賀町)

現地対策本部【20名】

本部員(リエゾン併任) 本省 15名
本部員(JETT併任) 気象庁 5名

石川県庁【21名】

リエゾン 北陸地整 6名
リエゾン 国土地理院 2名
JETT 気象庁 2名
高度技術指導班(住宅) 本省 1名
高度技術指導班(都市) 本省 1名
高度技術指導班(水道) 北海開発 2名
高度技術指導班(下水) 国総研 1名
高度技術指導班(空港) 大阪航空局 2名
被災状況調査班(砂防) 北陸地整 4名

輪島市【110名】

リエゾン 北陸地整 2名
応急対策班(道路啓開) 北陸地整 8名
被災状況調査班(道路) 中国地整 21名
被災状況調査班(道路) 九州地整 25名
被災状況調査班(砂防) 関東地整 12名
被災状況調査班(砂防) 北陸地整 4名
被災状況調査班(砂防) 中部地整 4名
被災状況調査班(砂防) 近畿地整 20名
被災状況調査班(河川) 北陸地整 6名
被災状況調査班(港湾) 北陸地整 3名
高度技術指導班(水道) 東北地整 2名
高度技術指導班(道路) 九州地整 1名
高度技術指導班(空港) 国総研 2名



ドローン調査(輪島市)



被災状況調査(珠洲市)



リエゾン活動(珠洲市)



ドローン調査(珠洲市)



能登町【45名】

リエゾン 北陸地整 1名
リエゾン 北信運輸 1名
応急対策班(道路啓開) 北陸地整 2名
被災状況調査班(道路) 中国地整 4名
被災状況調査班(河川) 北陸地整 4名
被災状況調査班(砂防) 北陸地整 12名
被災状況調査班(砂防) 中国地整 12名
現地支援班(応急給水) 東北地整 4名
高度技術指導班(水道) 四国地整 2名
高度技術指導班(港湾) 港空研 1名



リエゾン(能登町)

穴水町【51名】

リエゾン 北陸地整 1名
被災状況調査班(道路) 東北地整 24名
被災状況調査班(砂防) 関東地整 4名
被災状況調査班(砂防) 中部地整 4名
被災状況調査班(河川) 北陸地整 4名
被災状況調査班(応急危険度判定) 関東地整 6名
被災状況調査班(応急危険度判定) 北陸地整 3名
被災状況調査班(鉄道) 本省 2名
被災状況調査班(鉄道) 北信運輸 3名

応急危険度判定(穴水町)



飲料水支援(七尾市)



被災状況調査(七尾市)

中能登町【7名】

リエゾン 北陸地整 1名
被災状況調査班(河川) 北陸地整 4名
給水支援班(応急給水) 近畿地整 2名

氷見市【4名】

被災状況調査班(道路) 中部地整 4名

高岡市【4名】

リエゾン 北陸地整 2名
高度技術指導班(都市) 本省 2名

富山市

広報班 関東地整 2名
現地支援班(応急給水) 中国地整 2名
現地支援班(電源確保) 中国地整 2名

新潟市【4名】

被災状況調査班(応急危険度判定) 北陸地整 4名

新潟県庁【1名】

リエゾン 北陸地整 1名

内灘町

内灘町【4名】

被災状況調査班(道路) 中部地整 4名

金沢市【12名】

現地支援班(応急給水) 中部地整 2名
応急対策班(照明) 関東地整 2名
応急対策班(照明) 中部地整 2名
応急対策班(道路啓開) 北陸地整 1名
被災状況調査班(道路) 中部地整 3名
被災状況調査班(港湾) 中部地整 2名

富山市【6名】

北陸地方整備局【27名】

先遣班 東北地整 6名
先遣班 関東地整 6名
先遣班 中部地整 4名
先遣班 近畿地整 3名
先遣班 中国地整 4名
先遣班 九州地整 3名
先遣班 国総研 1名

国土交通省の資機材の活動状況 (能登半島)

総数 (能登以外の派遣、派遣移動中も含む)
 災害対策機械等 100台
 (うち、照明車 (電源確保) 6台)

輪島市
 照明車【1/2~ (稼働中)】
 対策本部車【1/6~ (稼働中)】
 待機支援車【1/6~ (稼働中)】
 衛星通信車【1/3~ (稼働中)】
 Ku-sat【1/4~ (活動中)】
 照明車 (電源確保)【1/7~ (稼働中)】4台
 海保回転翼機 (物資・人員輸送)【1/2,5】

輪島港
 巡視船 (人員・物資輸送、給水支援)【1/2~5】

珠州市
 散水車 (給水機能付)【1/5~ (稼働中)】
 照明車【1/3~ (待機中)】
 対策本部車【1/5~ (稼働中)】
 待機支援車【1/6~ (稼働中)】
 照明車 (電源確保)【1/6~ (稼働中)】2台
 海保回転翼機 (物資輸送)【1/2】
 測量船 (飯田港 港内調査)【1/5】
 測量船 (蛸島漁港 港内調査)【1/6】

照明車 (電源確保) 輪島市 諸岡公民館
 (家電製品 (スマートフォン) に電力供給)



照明車 輪島市 夜間照明



能登町
 照明車【1/3~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/6~ (稼働中)】
 Ku-sat【1/4~ (活動中)】
 測量船 (小木港・宇出津港 港内調査)【1/7】

穴水町
 衛星通信車【1/4~ (活動中)】
 Ku-sat【1/5~ (稼働中)】
 照明車【1/4~1/7 (稼働終了)】

能登島
 巡視艇 (人員輸送)【1/2】

照明車 (電源支援) 珠州市避難所



対策本部車 珠州市役所 (稼働中)



衛生通信車 穴水町役場



七尾港
 大型浚渫兼油回収船「海翔丸」 九州地整 1隻【1/5】
 巡視船 (物資輸送、給水支援)【1/3~】

七尾市
 照明車【1/2~ (待機中)】
 排水ポンプ車【1/3~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/3~1/6 (稼働終了)】
 Ku-sat【1/5~ (活動中)】
 モバイルトラカン (交通流の把握)【1/5~】



志賀町
 照明車【1/5~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/6~ (稼働中)】

中能登町
 散水車 (給水機能付)【1/3~ (稼働中)】
 照明車【1/5 (稼働終了)】

上越市
 照明車【1/3~ (稼働中)】
 バックホウ【1/4~ (待機中)】

散水車 (給水機能付) 中能登町ほか



羽咋市
 照明車【1/4~ (待機中)】

氷見市

氷見市
 散水車 (給水機能付)【1/2~ (稼働中)】

Ku-sat (渋滞監視) 七尾市



かほく市
 散水車 (給水機能付)【1/2~1/6 (稼働終了)】

かほく市

富山市

富山市
 バックホウ【1/3~ (待機中)】
 照明車【1/5~ (待機中)】
 Ku-sat可搬【1/5~ (待機中)】
 待機支援車【1/4~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/3~1/5 (稼働終了)】

金沢港

金沢市

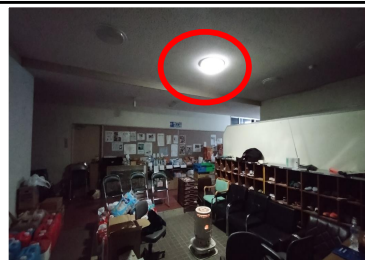
金沢市
 照明車【1/4~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/3~1/7 (稼働終了)】

照明車を活用した電源支援について

- 停電が長期にわたる避難所等へ、資源エネルギー庁が配備する電源車が派遣されるまでの間の応急対応として、国土交通省所有の**照明車を電源車として先行派遣し、被災者への電源支援**を1/6より実施。
- 珠洲市(旧日本小学校(1/6~7)、第三長寿園(1/7~)、勤労者会館(1/8~))、輪島市(港公民館(1/7~)、諸岡公民館(1/8~)、浦上公民館(1/8~)、劔地原子力防護施設(1/8~))で実施中。
- 今後も、輪島市、珠洲市において電源支援を拡大していく予定。



避難所への電源供給接続作業
(珠洲市 旧日本小学校)



電源供給により停電を解消 (珠洲市 旧日本小学校)



家電製品 (スマートフォン) に電力供給
(輪島市 諸岡公民館)

- 電源支援箇所数(1/9 現在) ※活動中6箇所
- 輪島市: 4箇所
- 珠洲市: 3箇所 (内1箇所終了)

- 活動中
- 活動終了



電源供給支援位置図



家電製品 (スマートフォン) に電力供給
(珠洲市 第三長寿園)



家電製品 (スマートフォン) に電力供給
(輪島市 港公民館)

可搬式浄水装置による給水支援

- R6能登半島地震における給水支援として、(独)水資源機構が保有する可搬式浄水装置2台を投入。
- 日本水道協会からの要請を受け、地震により浄水能力が失われた石川県珠洲市において、郊外にある亀ヶ谷(かめんた)池にて給水支援。8日(月)1台の設置を完了し、飲用の水質検査中。9日(火)は、珠洲市総合病院(所用5分以内)の雑用水(飲用以外)として使用予定。
- 可搬式浄水装置の特徴・効果
 - ・ 海や河川から取水して浄水することが可能であり、飲料水としても利用可能。処理能力は、1台50m³/日。
 - ・ 水質検査が終了し、本格稼働がなされれば、現在、ほとんどの給水車が金沢市と7時間以上^(注1)かけて往復しているところ、**珠洲市役所まで約20分に短縮される**。大型給水車約15台分^(注2)の往復を解消。

(注1) 深夜早朝の場合の所要時間。(注2) 稼働率を75%、給水車の容量約5000ℓと仮定。



8日(月) 設置状況



8日(月) 珠洲市水道担当者による確認



可搬式浄水装置全景